医療関係者などに感謝を込めて
～疫病収束祈願花火～

12月１日夜、新型コロナウイルス収束祈願と市民・医療関係者に感謝の願いを込めた花火が打ち上りました。これは市商工会青年部が主催して行われたもので、頴娃・知覧・川辺同時に打ち上げられ、約12分間で200発の花火が冬の夜空を彩りました。花火を観覧した人たちから「元気が出た」「寒い夜だったが、花火を見ていると温かくなった」などの声も聞こえました。

▲頴娃・知覧・川辺同時に打ち上げられた花火

武家屋敷に幽玄の灯り！
～南九州市あかりの道標「ちらん灯彩路」～

11月14日、知覧武家屋敷庭園群の通り700mで灯籠を設置する「ちらん灯彩路」が行われました。

夕方17時頃、日が暮れ始めるとともに一斉に明かりが灯され、児童の書いた絵が貼られた灯籠は幽玄な雰囲気を演出しました。コロナ禍での規模を大幅に縮小しての開催でしたが、見に来られた方は「とてもきれいですね」と笑顔でした。普段見られない武家屋敷のライトアップを楽しんでいました。

▲武家屋敷通りに、灯籠が幽玄な雰囲気を演出しています

イルミネーションで地域を元気に！
～大丸地区公民館の取り組み～

大丸小学校周辺では色とりどりのイルミネーションが、地域や道行く人たちの目を楽しませています。校区イベントのバザー益金や地区公民館の予算を原資に、電飾数を増やして今年で４年目。11月22日には、点灯式に併せて大丸小、勝目小児童の合同星空観察会を開催し、コロナ退散を祈願しての花火を打ち上げました。イルミネーションは来年1月中旬頃まで、午後６時から午後９時頃まで点灯。

▲大丸小学校周辺を華やかに彩るイルミネーション、ぜひ見に来てください！

秋の味覚を大収穫！
～大丸小学校サツマイモ収穫～

11月10日、大丸小学校の児童21人がサツマイモ収獲を体験しました。児童は、畑の所有者である松薗勝郎さんより指導を受けながら、約230キロのサツマイモを収穫しました。収穫したサツマイモは、学校で焼き芋にする他、自宅へ持ち帰ったり福祉施設へプレゼントしたりしました。児童は「家に持ち帰ったら、ガネの天ぷらやスイートポテトにして食べたい」と話しました。

▲指導を受けながら、サツマイモを収穫する大丸小の児童

知覧茶を子どもたちの身近に！
～小中学校へ給茶機設置～

11月25日、青戸小学校で給茶機設置のセレモニーが行われました。低迷するお茶の消費促進を図り、子どもたちがお茶文化を身近に親しめるよう市内全小中学校に１～３台、計28台を設置しました。この給茶機は、粉砕茶を使用し、お茶の栄養分が丸ごと摂取でき、温茶も冷茶も飲めるものです。セレモニーでは、青戸小学校の児童を代表して６年生の飯伏康介君からあいさつがあり、給茶機で入れたお茶で乾杯しました。

▲給茶機で注いだお茶を手にする青戸小学校の児童ら

お家で知覧茶を！
～知覧茶マルシェ2020@Home～

11月23日は「いい（11）風味（23）」で「お茶一杯の日」となっています。南九州市茶業振興会では、インスタグラムのlive配信で知覧茶の魅力を発信しました。知覧町の高塚丘（通称：茶ばっけん丘）と大野岳からは絶景のもとで知覧茶のおいしさを伝え、知覧武家屋敷からは知覧茶を使った料理の紹介、市の観光紹介、知覧武家屋敷さんぽを行いました。約1,200人の視聴があり、知覧茶の魅力を広く発信できました。

▲知覧茶のおいしさを絶景のもと配信中

農作物の収穫・豊作に感謝
～豊祭（ほぜ）グラウンドゴルフ大会～

11月23日、川辺町平山区で第11回豊祭グラウンドゴルフ大会が開催されました。平山区では、農作物の収穫・豊作に感謝する意味を込めて、また世代間交流や地域内の交流も兼ねて、水稲の収穫が済んだこの時期に水田を利用してグラウンドゴルフ大会を実施しています。今年も30チーム120人の小学生から高齢の方々が楽しみました。また、からいも餅の提供があり、おいしく食べました。

▲水田でグラウンドゴルフを楽しむ参加者ら

互いに切磋琢磨して優勝！
～県高等学校空手道新人体育大会～

10月16・17日、第55回県高等学校空手道新人体育大会が開催され、知覧中学校出身の東峯美咲さん（鹿児島城西高校２年）と東垂水優陽さん（鹿児島第一高校２年）が、組手の階級別でそれぞれ優勝しました。２人は小・中学生時代からの友人で錬武会知覧で空手を習い、その後、別々の高校に進んで空手を続けています。「これからも上位入賞できるようお互い切磋琢磨して頑張りたい」と述べました。

▲県大会で優勝した、東峯美咲さん(左)と東垂水優陽さん

元気な歯は日々の手入れから！
～8020達成者表彰～

「生涯、自分の歯で食べる楽しみを味わえるように」という願いから、80歳になっても20本以上自分の歯を保とうという「8020運動」を平成元年から推進しています。市では、8020達成者の中で、南薩歯科医師会の会員の先生方から推薦していただいた方々に対し表彰を行っています。今年度は12人の方が推薦され、８人の方が表彰式に出席しました。残歯本数が29本の方もいて、「元気な歯は普段からの手入れが大事である」と述べました。

▲ 8020 達成者表彰受賞者。前列左から、有村正宏さん、板坂金信さん、早川孝俊さん、福元治一さん。後列左から、有薗和子さん、内門勝正さん。後列右から、上野隆さん、森薗薩雄さん。

特定健診を受診しましょう！
～特定健診受診率向上地区表彰～

国民健康保険被保険者の健康増進を図る目的で、40歳から74歳までの方を対象に行う特定健康診査において、受診率が前年度より向上した地区を表彰しました。今回は、平成30年度と令和元年度を比較し、受診率が向上した３つの地区を表彰しました。

	地　区	副　賞
第1位	田代地区	50,000 円
第2位	勝目地区	30,000 円
第3位	中福良地区	20,000 円

▲特定健診受診率向上地区表彰。右から田代地区 西迫幸一館長、左から中福良地区 松清健一館長、勝目地区 田中孝市館長

南九州市が日本一を受賞！
～全国茶品評会褒章授与式～

11月13日、国内最高峰のお茶を選ぶ第74回全国茶品評会の褒章授与式が鹿児島市内で行われました。予定されていた全国お茶まつりが新型コロナウイルスの影響で中止となったため、式典のみ実施されました。個人最高賞の農林水産大臣賞を受賞した㈱枦川製茶と産地賞第1位の南九州市に表彰状と優勝旗が授与されました。表彰式終了後は鹿児島県知事に日本一の茶の贈呈も行われました。

▲県知事から表彰を受ける南九州市茶業振興会長の後藤正義さん(右)と市長

避難所用段ボールパーティション寄贈
～鹿児島県建設業協会加世田支部より～

11月9日、鹿児島県建設業協会加世田支部から避難所用として段ボールパーティション11ユニットを本市へ寄贈していただきました。支部長の桑畑昭三さんは、世界中で流行している新型コロナウイルス感染症による感染者の増大から「市の避難所運営対策としてパーティションを贈りたい」と寄贈への思いを話されました。いただいた段ボールパーティションは市の避難所運営に使用される予定です。

▲段ボールパーティションを寄贈した鹿児島県建設業協会加世田支部の皆さん